

令和6年度第7回士別市教育委員会会議録

1. 日 時	令和6年9月25日（水）午後1時30分～午後2時55分			
2. 会 場	士別市教育委員会 会議室			
3. 出席者	教育長 泉山浩幸	生涯学習部長 三上正洋		
	職務代理者 馬場千晶	学校教育課長 岡田詔彦		
	委員 加藤洋之	社会教育課長 千葉真奈美		
	委員 山田敦久	合宿の里・スポーツ推進課長 徳竹貴之		
	委員 多田千鶴	学校教育課主幹 手塚佳		
		学校給食センター副長 丸奈央子		
		士別南小学校栄養教諭 道見愛佳		

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

【各種イベント等について写真などを用いて説明】

- ・月初めに教育委員会職員に示したスローガンについて
①「〇〇の秋」…読書の秋、学習の秋、芸術の秋、スポーツの秋。
②「根拠は勇気」…日本ハムファイターズの松本剛選手が、盗塁はピッチャーの癖、配球データなどの「根拠」に基づいており「根拠」は自分にとって「勇気」⇒私たちの仕事にも「根拠」が大切。
- ・読書離れが進み、1ヶ月間に本を読んでない人が3人に2人。南小の玄関ホールで新刊図書を紹介。図書館司書を中心に読書活動を実施。
- ・学習指導要領は10年に1回の改訂。有識者会議で次期の学習指導要領を検討中。部活動の地域移行が進められる中、部活動の表記がどうなるのか。
- ・1人1台の学習用端末が普及。「デジタルとリアル（対面授業）」が大事。
- ・今年から「子ども議会～チャレンジ応援事業～」内容を変更して実施。10月6日に中央公園で「スマイルフェスタ&ゆるっと運動会」を開催。
- ・第3回定例会の一般質問において、「士別の教育」について、市民全体に分かりやすいものを掲示すべきとの意見があった。現在の「士別市まなびフォーカス」は主に学校教育を掲載。今後、社会教育、スポーツ等を加えて作成予定。
- ・士別小学校で、保育園・幼稚園関係者を集めて、「幼保・小連携交流会」を開催。
- ・翔雲高校で、来年度からコミュニティスクールを実施。間口が1つ復活。
- ・全道へき地複式研究大会があり、2日目に上士別小学校で分科会を行った。3、4年生の算数では、「デジタルとリアル」を組み合わせた授業を実施していた。
- ・「士別にコラッセ交流学校」では、川内村から5年生9人が南小で授業を受けた。
- ・全国中学校野球大会報告会、産業フェア、市民クロスカントリー大会、防災フェス、実業団による陸上教室、Joyrun、各校体育祭・学校祭について情報提供。

2 文部科学省研修生紹介

○三上部長

文部科学省からの研修生、池田徳菜さんを紹介する。

○文部科学省 池田徳菜氏

文部科学省より、先週から3週間、士別市教育委員会で色々と勉強させていただいている。よろしくお願いする。

3 議事について

○泉山教育長 進行

議案第25号 令和6年度士別市文化賞の選定について、説明を求める。

○千葉課長

前回の教育委員会会議で、個人1件を文化賞審議会に諮問することで皆様に了解いただいた。9月24日の文化賞審議会において審議をいただいた。文化賞審議委員から、文化賞にふさわしいと満場一致で答申を受けた。

この答申を受け、文化賞受賞者選定書案を作成し、市長に提出し、受賞が決定するという流れになっている。11月1日にグランドホテルで表彰式が執り行われる予定。

○泉山教育長

前回の教育委員会会議で、個人の方について推薦するということで決定していた。文化賞審議会の中では、全ての審議委員の方が教育委員さんと同じような考え方で、答申を渡された。

この教育委員会会議の中でもう一度確認していただき、市長に提出する。意見があればいただきたいが、よろしいか。

(全員了承)

この後、市長に提出する。

4 その他

◇士別市の不登校・いじめ等の現状について

手塚主幹説明

◇令和6年度学校給食アンケート調査結果について

丸副長説明

◇令和6年度「生活リズム実態調査」実施要領について

千葉課長説明

◇上川管内学校体育研究大会北部大会（士別大会）について

岡田課長説明

◇士別市P.T.A連合会研究大会について

岡田課長説明

◇市内小学校学芸会・文化祭の日程について

岡田課長説明

◇当面する今後の日程について

三上部長説明

午後2時55分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

泉山浩幸

会議録調整者

岡田 誠彦